3.9（月）
18:00 ～ 20:30
札幌エルプラザ４階
（北８西３）大研修室

北の里浜 花のかけはしネットワーク 第2回フォーラム

４年後の被災地と結び、できること・学ぶことを考える

東日本大震災から丸４年。防潮堤や海岸林盛土などの工事は一部で大きく進んだ反面、被災した皆さんの多くは、未だ仮設住宅で暮らし、将来像が不安定なままにあります。

北海道に住む私たちに何ができるのか？悩んでいた私たちが現地の海岸で見たのは、何事もなかったかのように可憐に、しかし力強く花を咲かせていたハマヒルガオでした。

復旧事業が本格化する中、失われてしまうかもしれないハマヒルガオなどの海浜植物を救出し、再び東北の海岸に戻すために「北の里浜　花のかけはしネットワーク（はまひるがおネット）」が、東北の海岸から海浜植物のタネを集め北海道にて苗づくりを始めて１年が経ちました。

今回その活動を報告するとともに、東北からのゲストを迎えて、地域の自然環境とともにあったエコロジカルな暮らし・伝承、コミュニティが持つ防災・減災の力や知恵について考えを巡らし、北海道でできることを模索するきっかけにしたいと思います。

ゲストは東北学院大学の千葉 一さんと名取ゆりりん愛護会会長の大橋信彦さんのお二人です。

基調講演をお願いした千葉さんは、被災直後から地元気仙沼で、地域のコミュニティによる地元資源を使ったコミセン再建に関わり、エコロジカルな伝承への回帰が防災・減災に欠かせないとおっしゃっています。

話題提供をお願いした大橋さんは、このような時こそ地域の原風景ともいえる自然に目を向けるべきと考え、名取のマツ林の再生、さらに市内を縦断する増田川の生きもの調査を通して自然資源の記録と市民連携を図ってこられました。

基調講演・話題提供の後は「はまひるがおネット」の１ 年間の活動報告もいたします。これらを踏まえ、私たちがネットワークとしてできることを皆で話し合うワークショップを行います。

皆さまのご参加をお待ちしています！

■プログラム：
1. 基調講演「エコロジカルな伝承への回帰がもたらす防災・減災」
　東北学院大学 非常勤講師　千葉 一さん
2. 報告（１）名取ゆりりん愛護会会長　大橋 信彦さん
　（２）北の里浜 花のかけはしネットワーク
　代表　鈴木 玲
3. ワークショップ　※終了後、懇親会を予定

■定　員：90 名（先着順・参加費無料）
■お申し込み・お問い合わせ：
北の里浜 花のかけはしネットワーク 事務局（鈴木）
harunire147@knh.biglobe.ne.jp/080-1891-7847まで
氏名・所属・連絡先・懇親会の出欠をお知らせください
■主　催：北の里浜 花のかけはしネットワーク
■後　援：札幌市、（公財）北海道環境財団、EPO 北海道
EPO 東北（EPO＝環境省環境パートナーシップオフィス）
海と田んぼからのグリーン復興プロジェクト

はまひるがおネット